

大震災からの復興支援について

枕崎市長 神園征

この度の地震・津波災害で亡くなられた方々に深甚なる哀悼の意を表するとともに、被災された住民の方々に對しまして心からお見舞いを申し上げます。

世界が驚き、日本中が茫然自失となった日から今日で16日目(3月27日現在)です。テレビの番組や新聞の紙面組みはやや平常に戻りつつあるようですが、被災地や被災者の方々はこの先どれ程の艱難に耐えなければならぬのでしょうか。外は大雪の降る中、暖をとる事もままならず、段ボール紙を敷布団がわりにして休まねばならない避難所暮らしはいつまで続くのでしょうか。ラジオから流れる哀調を帯びた新相馬節「はあ、遙か彼方は相馬の空かよ」の民謡に咽び泣きを堪える男(これまで人前で涙を見せたことがないという)が、新しい希望をもって平常心で故郷の民謡を聞けるようになるのはいつの日でしょう。

今度のことは、昭和20年、戦争に負けて以来66年ぶりの困難だと思えます。この中からいかにして日本が復興するかどうか、日本と日本人が試されていると思えます。枕崎市でもできる限りの復興支援をしていきたいと思います。市民の皆様には既に「日本丸」での物資支援、義援金など多大なご協力をいただいています。ありがとうございます。これから引き続き長いご支援をお願いします。

東日本大震災被災地の皆様によりお見舞い申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。枕崎市では被災者支援対策本部を設置し、被災した方々への支援を行っています。今後も市民と協力して、できる限りの支援を行ってまいります。

東日本大震災被災者支援のお願い

義援金を受付けています

被災地には、本市と同じ特定第3種漁港を有する市が多くあります。今回の地震では、そのうち「石巻市」「気仙沼市」などが大きな被害にあいました。受付けた義援金は、これらの市を中心に直接送付する予定です。

- 義援金箱設置箇所 市役所正面玄関内(土、日、祝日は宿直室)、健康センター、枕崎駅前観光案内所、お魚センター、かつお公社、地場産業振興センター
- 義援金振込口座

- ・口座番号 鹿児島銀行枕崎支店 普通預金1044222
- ・口座名義 枕崎市義援金

- 団体での義援金について 団体で義援金をお持ちくださるときは、総務課秘書広報係(市役所2階)をお願いします。
- 問合せ 総務課秘書広報係 TEL72-1111 内線211

住宅の無償貸与協力をお願いします

被災者の方に対し、市営住宅、民間住宅等を家賃免除で貸与していますが、引き続き市民の皆様で、空き家を



① 義援朝市で募金活動をする中学生 ② 被災地へ向かう防災ヘリ「さつま」 ③ 南薩地区消防組合からの救急救護隊 ④ 支援物資でいっぱい漁業協同組合の倉庫 ⑤ 支援物資を積み込み出港する「日本丸」

めには、この6項目のほか、あらゆる機会を捉えて活性化策に取り組みなければなりません。九州新幹線がいよいよ今年12日に全線開業いたします。本市におきましても、現在実施中のぶえん艦スタンプラリーやカツオマイスター制度をはじめ様々な取組を通じて本市への観光客の誘導に努めます。

療費についての無料化を実施いたしました。療費については、平成22年度の住民生活に光をそそぐ交付金事業を活用した福祉作業所を開設するなど、今後とも更なる充実にも努めます。

行財政改革

につきましては、本市の厳しい財政状況の改善を図ることはもちろん、枕崎再生のための財源確保を図るためにも、重要な課題でありますので、平成22年度中に「第2次行財政集中改革プラン」を策定し、職員の意識改革を図りながら、行財政改革の具体的な取組を着実に推進していききたいと思っております。

職員の地域担当制

につきましては、これまでに2つのモデル地区を設定し、地域の抱える様々な課題について自主的に解決し地域を活性化するための取組を進めているところであり、新年度はこの取組を更に拡充させていききたいと考えております。

快適な環境づくり

につきましては、7月に美初地区の畜産施設について市と事業場、地元住民との公害防止協定を取り交わし、悪臭防止の対策を進めております。畜産施設や工場等の悪臭防止対策は、市民の生活環境を守る重要な課題であるとして位置付け、市・事業場・関係機関一体となって今後とも引き続き取り組めます。

雇用の場の確保 につきましては、緊急雇用創出事業臨時特別基金事業やふるさと雇用再生特別基金事業等の積極的な活用による雇用創出の創出に努めるほか、企業誘致による雇用の場の創出の観点から、企業誘致を促進するための新たな方策について具体的に検討します。

福祉の充実

につきましては、昨年7月から小学校3年生以下のすべての乳幼児・児童の医



▲施政方針演説をする神園市長

人と物が豊かに交流し、協働で築く 活力創造都市を目指して

平成23年枕崎市議会第2回定例会が3月4日招集され、神園征市長が市政運営についての施政方針演説を行いました。その一部を抜粋して紹介します。

◎施政方針演説の全文は枕崎市ホームページに掲載しています。

私の掲げた危機的状況を打開するための6つの項目について取組状況を説明いたしました。本市活性化のた

めには、この6項目のほか、あらゆる機会を捉えて活性化策に取り組みなければなりません。九州新幹線がいよいよ今年12日に全線開業いたします。本市におきましても、現在実施中のぶえん艦スタンプラリーやカツオマイスター制度をはじめ様々な取組を通じて本市への観光客の誘導に努めます。そのためには、交通アクセス対策が極めて重要になります。現在、枕崎・鹿児島中央駅間にスーパー特急バスを試験運行させる方向で事業者及び近隣市と調整中ですが、JRに対して、観光特急列車の枕崎までの運行延伸やトロッコ列車など観光客の旅程をそそる特色ある列車の導入等の運行を促す取組を進めています。また、新幹線全線開業の効果を本市が最大限に享受できるための取組を進めます。本市の地域特性を生かした取組として、現在、稚内市との交流に向けた取組を進めています。今後、市内の各業界や団体等と意見交換をさせていただきながら、産業面も含めた幅広い交流を行うことにより、本市経済の活性化につなげていきたいと思います。また、新年度から第5次枕崎市総合振興計画基本計画の計画後期がスタートします。新たな計画につきましては、現在実施中の意見公募手続を経た後、皆様にお示ししたいと考えておりますが、今後の市政運営に当たっては、限られた予算の中、創意工夫を凝らし、計画に盛り込まれた施策を一つ一つ着実に推進してまいります。